

## 献辞

我々が敬愛する莖田佳壽子先生が、二〇〇〇年三月末をもって、広島修道大学法学部を定年退職される。法学部一同は、先生の長年にわたる教育・研究ならびに大学運営へのご貢献に対し敬意と感謝の念を表し、謹んで本号を捧げる。

先生は、明治大学大学院法学研究科修士課程に学ばれた後、一九六六年に法学博士（明治大学）の学位を取得された。また、先生は、一九五二年に明治大学刑事博物館学芸員に就任され、一九七六年からは洗足学園大学非常勤講師を兼任されている。そして、一九八三年に本学法学部に赴任された。

先生の研究分野は、日本法制史であって、主要なる業績には『江戸幕府法の研究』『幕末日本の法意識』などの著書や近世入会権などに関する論文などがある。このような研究を基礎に、教育面においては、全学の学生を対象とする日本史や法学部における法制史などを、また大学院法学研究科においては法制史研究ならびに同研究指導を担当された。

先生は温厚、篤実の人であり、我々に対しては常に穏やかであった。また、学生の指導にあたっては優しく、丁寧であって、多くの学生に慕われ、また頼りにされておられた。

先生をお送りすることは、誠に残念であるが、定年での退職であり已むをえない。先生の長年のご苦勞を謝するとともに、これからも健康に留意され、ご活躍されることを祈ってやまない。

広島修道大学法学部長 安井 威 興